

特定防火設備箇所。特に採光が必要な出入口、エレベータ乗降ロビー出入口、避難階段の出入口など人の出入りの多い箇所。

概要説明書(その2)

技術名称	透明耐熱ガラス入特定防火設備(ファイヤーカール)	※登録No.	20K1001
新技術のアピールポイント(課題解決への有効性)			
透明硝子入特定防火設備が持つ、火災のときに「内部の状況がわかる」「消火活動や避難誘導がやりやすい」「避難時の出くわし防止」などの効果に加え、従来制限されていた左右の開閉順序や開閉制限を解消したフリーウェイトドア。ラッチや順位調整器、フラス落しを用いない特殊構造で左右どちらの扉からでも開閉でき、利便性から常時出入りする区画に有効で、美観を損なわずに自由なデザインで防火性と安全性を確保できます。			
新規性及び期待される効果			
①どこに新規性があるのか？(従来技術と比較して何を改善したのか？) 常時閉鎖式防火戸として、順位調整器やフラス落し、ラッチを用いる従来の構造を、親子扉の召し合せ部及び枠との合せ部に熱発泡するタイト材を用い扉自体を密着させて順位調整器やフラス落し、ラッチを使わず、召し合せ部も目板を使わない構造に改善し、特定防火設備個別認定を取得。 ②期待される効果は？(新技術活用のメリットは？) 左右どちらの扉からでも開閉ができることから人の出入りの多い区画に有効。透明硝子入特定防火設備の採光やデザインの自由度を高め美観を損なうことなく、安全・安心を構築できる特徴を、より明るく開放的な空間をより多種多様な場所や空間で創造できる。			
適用条件			
①自然条件 ②現場条件 ③技術提供可能地域 県下全域への提供が可能 ④関係法令等 建築基準法第68条の26、建築基準法施行令第112条第1項(特定防火設備)、第109条(防火設備)、平成2年建設省告示第1125号(特定防火設備・防火設備の試験)			
適用範囲			
①適用可能な範囲 鋼製建具取付可能な箇所全域 ②特に効果の高い適用範囲 特定防火設備として建築基準法施行令第112条各項に規定する開口部を特定防火設備及び防火設備とする防火区画(③適用できない範囲を除く)に適用。特にその特性から日常的に人が出入りする区画や避難誘導路に使用する区画に有効。 ③適用できない範囲 たて穴区画での遮煙性能など特定防火設備に特定の性能を有する区画。 ④適用にあたり、関係する基準及びその引用元 建築基準法施行令第112条(特定防火設備)、第109条(防火設備)			
留意事項			
①設計時 特定防火設備個別認定はガラスとドア等を一体として与えられており、防火戸の設計の際は認定の有無及び仕様に基づいていないなければならない ②施工時 ガラス入れ・ガラスシール工事は、認定取得メーカーの管理による責任施工でなければならない。従い、ガラス別途工事や金属建具別途工事では特定防火設備認定品とはならない ③維持管理時 ガラス施工時に特定防火設備個別認定品を証明するシールが貼られる。はがさないよう注意が必要 ④その他 枠と扉の製作は認定品製造工場以外では製作できない。			

概要説明書(その3)

技術名称	透明耐熱ガラス入特定防火設備(ファイヤーカール)	※登録No.	20K1001																																										
活用の効果																																													
比較する従来技術	従来構造の透明硝子入特定防火設備(順位調整器、フランス落し、ラッチ仕様)																																												
項目	活用の効果		比較の根拠																																										
経済性	☐ 向上 (%)	☐ 同程度	☒ 低下 (26 %)																																										
工 程	☒ 短縮 (20 %)	☐ 同程度	☐ 増加 (%)																																										
品 質	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																																										
安全性	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																																										
施工性	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																																										
周辺環境への影響	☐ 向上	☒ 同程度	☐ 低下																																										
活用の効果の根拠																																													
<table border="1"> <tr> <td>基準数量</td><td>1</td><td>単位</td><td>枠扉セット</td></tr> <tr> <td></td><td>新技術(A)</td><td>従来技術(B)</td><td>変化値A/B(%)</td></tr> <tr> <td>経済性</td><td>859,700円</td><td>681,000円</td><td>126%</td></tr> <tr> <td>工 程</td><td>20日</td><td>25日</td><td>80%</td></tr> </table>				基準数量	1	単位	枠扉セット		新技術(A)	従来技術(B)	変化値A/B(%)	経済性	859,700円	681,000円	126%	工 程	20日	25日	80%																										
基準数量	1	単位	枠扉セット																																										
	新技術(A)	従来技術(B)	変化値A/B(%)																																										
経済性	859,700円	681,000円	126%																																										
工 程	20日	25日	80%																																										
●新技術の内訳 基準数量: あたり <table border="1"> <tr> <th>項 目</th><th>仕 様</th><th>数量</th><th>単位</th><th>単価 (円)</th><th>金額 (円)</th><th>摘 要</th></tr> <tr> <td>ファイヤーカール (フリーウェイ仕様)</td><td>1,800×2,100</td><td>1</td><td>セット</td><td>859,700</td><td>859,700</td><td>ガラス、ガラス施工費含む</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				項 目	仕 様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘 要	ファイヤーカール (フリーウェイ仕様)	1,800×2,100	1	セット	859,700	859,700	ガラス、ガラス施工費含む																												
項 目	仕 様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘 要																																							
ファイヤーカール (フリーウェイ仕様)	1,800×2,100	1	セット	859,700	859,700	ガラス、ガラス施工費含む																																							
●従来技術の内訳 基準数量: あたり <table border="1"> <tr> <th>項目</th><th>仕様</th><th>数量</th><th>単位</th><th>単価 (円)</th><th>金額 (円)</th><th>摘 要</th></tr> <tr> <td>ファイヤーカール (従来仕様)</td><td>1,800×2,100</td><td>1</td><td>セット</td><td>681,000</td><td>681,000</td><td>ガラス、ガラス施工費含む</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>				項目	仕様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘 要	ファイヤーカール (従来仕様)	1,800×2,100	1	セット	681,000	681,000	ガラス、ガラス施工費含む																												
項目	仕様	数量	単位	単価 (円)	金額 (円)	摘 要																																							
ファイヤーカール (従来仕様)	1,800×2,100	1	セット	681,000	681,000	ガラス、ガラス施工費含む																																							
(注) 新技術、従来技術とも製品内訳に搬入費及び取付費は含まない																																													

概要説明書(その4)

技術名称	透明耐熱ガラス入特定防火設備(ファイヤーカール)		※登録No.	20K1001
施工単価	☐ 歩掛りなし ☒ 歩掛りあり(☐ 標準 ・ ☐ 協会 ・ ☒ 自社)			
取付施工は、防火戸として同様 ファイヤーカールの場合のガラス施工費は、1枚の大きさが4㎡以上となった場合に50%アップ				
施工方法				
ガラス施工については以下の通り ① ガラス受入検査(寸法、キズ、エッジテープ、ピランマークの確認)とサッシガラス開口部寸法確認 ② 押縁を取外し溝内部を清掃後、セッティングブロック、先付バックカーを設置した上でガラスを設置 ③ ガラス位置を調整の上固定し、押縁を取付け、後付バックカーを取付ける ④ シリコン打設後、シールの仕上げ・養生を行う ⑤ 目視により、キズの有無、シールの不具合など有害な欠陥がない事を確認				
残された課題と今後の開発計画				
①課題 ガラスの搬入取り付け時の損傷防止対策				
②計画 法令、市場ニーズに即した製品の企画開発と個別認定取得(バリエーションの向上)				
施工実績	☒ あり ☐ なし			
新潟県の公共事業	0			
他の公共機関	1			
民間等	0			
特許・実用新案				番 号
特 許	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし			
実用新案	☐ あり ☐ 出願中 ☐ 出願予定 ☒ なし			
他の機関による 評価・証明	証明機関	国土交通省		
	制度名	特定防火設備		
	番号	国住指第2118号		
	評価等年月日	平成15年9月19日		
	証明等範囲	特定防火設備		

概要説明書(その6)

[illegible]

概要説明書(その7)

[illegible]